

- ✓ 陸前高田市 森開き開始
- ✓ 事業活動報告
ゼロエミッション研究会
- ✓ 事業活動報告
森林アカデミー / 森林活動



公益財団法人

Save Earth Foundation

トピックス

陸前高田市「企業等による森づくり制度」森開き開始

2025年2月4日に陸前高田市とともにSEF会員企業7社と締結した「企業等による森づくり制度」における活動に関する協定の協定締結式を行った各社が、5月より「企業等による森づくり制度」による看板除幕式や森開きを行いました。

本協定は、陸前高田市の森林が有する多面的機能の維持増進を図るとともに、企業等による陸前高田市への継続的な来訪を促し、交流人口の拡大及び地域活性化につなげることを目的としています。企業は、SEFのコーディネートのもと、2025年度より陸前高田市の森林の1区画を利用し、植樹や下刈り、除間伐、枝打ち等の森林活動を実施します。

陸前高田市は、企業の希望を加味した活動の場を提供し、現地での活動支援を陸前高田市森林組合とともに行います。この協定は、2023年に陸前高田市とワタミエナジー株式会社とSEFが締結した「森林資源の活用に関する連携協定」に基づいて自治体と企業等が連携した森林保全活動の促進に関することを通じて制度化されました。

本協定の第1回締結式は、株式会社ウェストボックス、株式会社ガイアドリーム、株式会社ニッスイ、株式会社ボンマックス、理研ビタミン株式会社、株式会社ローソン、ワタミ株式会社(50音順)の7社で行いました。それぞれの企業が陸前高田市での森林活動を通し、地球環境への貢献、地域社会への貢献をまいります。



5月28日(水)にワタミ株式会社が看板除幕式を行い、外食社員38名と森の活動を行いました。主な活動は除伐・下刈り・坪刈りを行いました。天気に恵まれいい汗をかきました。

その後、6月以降もMD部門・ワタミエージェント・本社・焼肉部門等各部署の方が森の活動を行いました。

6月26日(木)に森林アカデミーで企業の森活動を行いました。株式会社ウェストボックス様が森開き、看板除幕式を行い、その後森林アカデミーにご参加された企業様と森の活動を行いました。主な活動は除幕式、除伐、下刈り、生きものの観察、各協定林の視察を行いました。参加された企業様は株式会社ウェストボックス様、株式会社ボンマックスアパレル様、株式会社Comodo LABO様、株式会社ローソン様、三陽物産株式会社様、株式会社ガイアドリーム様、株式会社ニッスイ様、出光興産株式会社様、株式会社サタケ様にご参加頂きました。



ゼロエミッション研究会とは

当財団では、ゼロエミッションの実現に向けて、2017年より食品小売業・外食産業の店舗から発生する廃棄物(特に食品循環資源)の発生抑制・資源循環・適正管理の手法を学ぶ場として、「ゼロエミッション研究会」を開催しています。

第1回ゼロエミッション研究会

5月29日(木)に今年度1回目となるゼロエミッション研究会を開催しました。45社90名の方にZOOMとのハイブリット勉強会にご参加頂きました。基調講演として「食品リサイクル法の基本方針等の見直し 食品循環資源の堆肥の土壌への有効性など」について、東京農業大学准教授の入江満美氏に、「食品ロスに新たな価値を」について、株式会社日本フードエコロジーセンター代表取締役の高橋巧一氏にご講演頂きました。

第2回ゼロエミッション研究会

7月24日(木)に今年度2回目となるゼロエミッション研究会を開催しました。40社86名の方にZOOMとのハイブリット勉強会にご参加頂きました。「2023年度食品廃棄物等の発生量及び再生利用等の実施率」について、東京農業大学名誉教授/SEF 顧問の牛久保明邦氏に、「食品ロス発生メカニズム-経済学的分析を」について、叡啓大学副学長・学部長・特任教授/神戸大学名誉教授/NPO ごみじゃぱん代表理事の石川雅紀氏 氏に、「割りばしのアップサイクル ChopValueの取り組み」について、ChopValue Manufacturing Japan 株式会社代表取締役ジェームス・ソバック氏にご講演頂きました。

森林アカデミーとは

当財団では、「なぜ今、企業に森が関わるのか」をテーマに森林再生活動の具体例や生物多様性への取り組み、森林クレジットによる脱炭素社会への貢献を学ぶ機会を提供し、参加企業が自社で「企業の森」活動を通して、森林再生保全・生物多様性保全を実践することを目的に2024年度新たに森林アカデミーを開催しました。

第1回森林アカデミー

4月24日(木)に今年度1回目となる森林アカデミーを開催しました。25社45名の方にZOOMとのハイブリット勉強会にご参加頂きました。第1回は弊法人の顧問であり株式会社モリアゲの代表取締役である長野麻子氏に「企業がなぜ今、森に関わるのか」についてご講演いただき、弊法人の理事であり株式会社森のエネルギー研究所の代表取締役である大場龍夫氏に「森林バイオマス ー地域資源を活用する地域活性化ー」についてご講演頂きました。

**第2回森林アカデミー
陸前高田の森企業の森実地研修**

6月26日(木)～ 27日(金)に今年度2回目となる森林アカデミーを開催しました。陸前高田企業の森での活動をの森に実地研修として9社24名の方に勉強会にご参加頂きました。企業の森の一区画で実際に作業し、Jクレジットを購入する森の視察を1泊2日で研修を行いました。

**第2回森林アカデミー
日向の森実地研修**

6月19日(木)に今年度2回目となる森林アカデミーを日向の森で実地研修を行いました。6社22名の方に日向の森での現地視察と勉強会にご参加頂きました。講師として千葉森林組合の那須章人氏や生物調査員の安部拓也氏にお越しいいただき、間伐体験や生物多様性の保全について現地で体験しながら講義を受けました。後半は「なぜ、企業は森に関わるのか」をテーマにご講演頂きました。

第3回森林アカデミー

8月21日(木)に今年度3回目となる森林アカデミーを開催しました。20社45名の方にZOOMとのハイブリット勉強会にご参加頂きました。第3回は自然環境調査を行っているアベタク屋の代表、安部拓也氏に「生き物視点に立つ」と題してご講演いただき、陸前高田市農林課蒲生夏生氏とSEF 事務局から「陸前高田企業の森活動の進捗」について報告し、ワタミエナジー株式会社の山崎輝氏に「陸前高田森林クレジットとその紹介」について、ワタミ株式会社の清水由紀氏に「森の活動状況」についてお話を頂きました。

2025年4月から8月の森林保全活動 2025年8月31日現在

活動日	場所	イベント	参加人数
4月	19日 日向の森	定例保全活動	14名
	26日 海上の森	定例保全活動	11名
5月	3日 日向の森	定例保全活動	15名
	10日 日向の森	植樹	25名
	24日 日向の森	定例保全活動	6名
	25日 丹波の森	定例保全活動	6名
6月	26日 日向の森	定例保全活動	14名
7月	5日 日向の森	定例保全活動	12名
8月	9日 埴谷の森	定例保全活動	16名

2025年4月～2026年3月末までの累計

山武の森 **102名** あいち海上の森 **11名** 丹波の森 **6名**

◎海上の森(愛知県瀬戸市)活動報告

4月26日(土)の活動では、スタッフを含め合計11名が参加されました。

「みんなの森」まで自然観察を行いました。海上の森センター職員の方から、どのようにこの森の外周や面積を図っているのか、実際に測量を見せてもらいました。そのあとで、3月初旬に間伐11本を行った状態の森を観察しました。「みんなの森」の全貌を知るため、MAPを手に外周を全員で歩きました。外周約680mですが、起伏が激しいところや、道がないところを歩き、今まで自分達が保全を行ってきた場所が、ほんの一部だということを実感しました。

次に先回の活動の階段の続きとして、くさびを使い丸太を半分に割り、少し溝を掘った場所に半割丸太を置き、その前に枝の杭を掛矢(かけや：大きい木のハンマー)で打ち込み、さらに丸太と杭をカスガイで止付け、足りない土を入れ踏み固めて5段の階段を作ることができました。

手が空いたメンバーはヤブデマリに続く道にある古い木などを整理し道を整えました。

全員で花見をしながら団子をほおぼり、自然を堪能できました。



◎ウッディミナミの森(兵庫県丹波市)活動報告

5月25日(日)の活動は、スタッフを含め合計6名が参加されました。森の中の散策を行い、有限会社ウッズの能口氏に間伐をしていただきました。



◎日向の森(千葉県山武市)活動報告

6月28日(土)の活動は、スタッフを含め合計13名が参加されました。主な活動は、草刈り、木材運搬、林道の整備、簡易的な生物調査を行いました。

伐倒したサンプスギを置く土場まで運びだした後、土間の草刈りと、溜池まで下りる坂道に、簡易的な階段を作る作業班に分かれて作業を行いました。

生物調査では、鳥類：ウグイス、シジウカラ、ホトトギスなど、約10種程度を確認しました。昆虫類・クモ類：マユタテアカネ、ニイニイゼミ、トリノフンドマシなど、30～40種程度を確認できました。

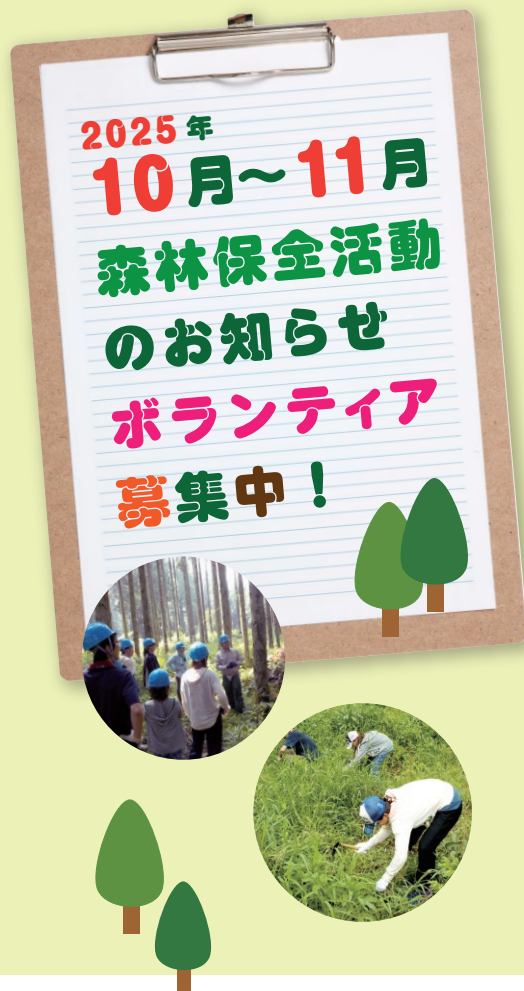


◎埴谷の森(千葉県山武市)活動報告

8月9日(土)の活動は、スタッフを含め合計15名が参加されました。埴谷の森は、SEFの前身であるNPO法人Return to Forest Life時代に協定を結んだ私有林で、2007年からワタミ社員や一般ボランティアと一緒に草刈りや除伐、植樹などの活動を行っていました。コロナの影響で約3年間活動を休止していましたが、活動を再開することができました。

全員で森の周辺を視察し、どんな状況になっているのか確認しました。樹木も雑草も人が入れない程に成長していました。森は1haもありますが、まずは雑草で埋もれた駐車場をきれいにするところから始めました。

埴谷の森の活動は今後も定期的に行っていきます。



SEFでは、各地域での森林保全活動をお手伝い頂けるボランティアさんを募集しています。

千葉県山武市では原則として毎月第2・第4土曜日に定例活動を行っているほか、他地域でも年数回の活動を実施しています。

なお、活動実施にあたり感染症の拡大防止に最大限の配慮を講じてまいります。

下記リンクから確認事項等ご参照のうえ、ご参加をお願いいたします。

<https://save-earth.or.jp/archives/6783>

<2025年10月～11月の活動予定>

●千葉県山武市(日向の森)

10月4日(土)、10月18日(土)

11月8日(土)、11月22日(土)

※引き続き、2018年の台風15・19号による被害を受けた人工林の復旧作業を中心とした活動を予定しています。

●愛知県瀬戸市(あいち海上の森)

11月29日(土)

※その他地域での活動予定については、SEF ホームページをご覧ください。

活動の詳細、お申込みはコチラ ▶▶ <https://save-earth.or.jp/event>

賛助会員・サポーター入会のご案内

SEF の活動は、皆さまからのご支援に支えられています。

「美しい地球を未来の子どもたちに残したい」。この思いにご賛同いただける皆様のご入会をお待ちしております。

企業・団体	会員特典	・食品リサイクルループ構築支援 ・「企業の森づくり活動」支援 ・廃棄物法令、食品リサイクル、廃棄物管理等の専門家による助言・指導 ・「ゼロエミッション研究会」など、各種セミナー等へのご招待・ご優待		
	会員区分 年会費	特別賛助会員	1 □	500,000 円
		賛助会員	1 □	50,000 円
		資源循環サポーター	1 □	50,000 円(資源循環事業に用途を限定)
		森林再生サポーター	1 □	50,000 円(森林再生事業に用途を限定)
個人	会員特典	・「ゼロエミッション研究会」など、各種セミナー等へのご招待・ご優待 ・森林ボランティア活動参加者に千葉県産サンプスギ製「サポーター登録証」を発行		
	会員区分 年会費	賛助会員	1 □	10,000 円
		資源循環サポーター	1 □	1,200 円(資源循環事業に用途を限定)
		森林再生サポーター	1 □	1,200 円(森林再生事業に用途を限定)

ご入会のお申込みはこちらから→<https://save-earth.or.jp/member/apply>



美しい地球を子どもたちに残したい

公益財団法人 Save Earth Foundation

TEL : 03-5737-2744

FAX : 03-5737-2793

E-mail : info@save-earth.or.jp